



小野晃典研究会

マーケティング論（広告論・消費者行動論）

研究領域

私の研究・教育領域は、マーケティング論です。マーケティング論のフレームワークを用いて、「なぜ消費者はこのブランドを選択したのか」、「なぜこの広告は売上に貢献しているのか」、「なぜこの店はここに立地しているのか」といった具体的な課題を解くためのモデルの構築と実証を目指します。マーケティング論は広範な学問領域ですが、私の中心的な研究領域は広告論と消費者行動論です。製品情報に関わるコミュニケーションを、主に消費者心理を読み解くことによって分析するというスタンスです。

研究会の特徴

ゼミ活動を通じて自己成長を遂げようという気概に満ちたゼミ生たちと、彼らに代えてゼミ教育を最優先に考える私とで構成される当研究会は、これまで極めて高い成果を上げてきました。ゼミ卒業生とのつながりも厚く、OB・OG 総会の出席率は 8 割を超えます。こうした当研究会の固く深い絆は、ゼミでの密度の濃い時間をもたらしたものに他ならず、卒業時に皆が流す涙もそのことを物語っています。

学生への要望

企業活動や消費者心理に関わる諸現象を読み解くことへの関心、そして、マーケティング研究が大好きな私とその気持ちを共有して取り組む情熱を切望します。また、今後四半世紀以上も続く後輩の模範となる塾生でなくてはなりません。私はどの先生にも負けないくらいにゼミ教育を最優先しますので、皆さんも在籍中の 2 年間、ゼミ活動を最優先してください。

選考方法

書類審査・面接・その他の企画によって多角的に人物像を評価し、ゼミ生と共に選考します。2010 年度の詳細は未定ですので、今後更新されるゼミのウェブサイトを随時確認してください。

経歴

1995 年 慶應義塾大学 商学部 卒業； 2000 年 同大学院 商学研究科 修了（商学博士）
1997 年 慶應義塾大学 商学部 助手； 2000 年 専任講師； 2003 年 助教授 / 准教授 [現職]
その間、カリフォルニア大学バークレー校 ハース経営大学院、カリフォルニア州立サンノゼ大学 シリコンバレー経営大学院、北京大学 光華管理学院、ミシシッピ大学 経営大学院にて、客員研究員を歴任

参考文献

指導教授の研究・教育実績について：<http://news.fbc.keio.ac.jp/~akinori/>
ゼミ生の研究成果・入ゼミ情報について：<http://news.fbc.keio.ac.jp/~onosemi/>
ゼミ外メディアでのゼミ紹介記事：
広告業界誌『宣伝会議』第 745 号（2008 年 7 月）
慶應義塾広報誌『塾』第 260 号（2008 年 10 月）
河合塾『栄冠をめざして』SPECIAL 特集号（2009 年 7 月）
<https://www.52school.com/infsr/special/ss/ss-2210-3.jsp>

ゼミの特徴（ゼミ員より）

当研究会の最大の特徴は、ゼミ生全員の熱い意欲の結晶である高度な研究成果です。昨年度は、6 度目となる「慶應義塾大学商学会賞」の受賞を果たした他、初挑戦での「テレコム社会科学学生賞」最優秀賞受賞、「国際ビジネス学会」発表権獲得と



いった、目に見える形での高い評価を得ました。今年度は、三田祭研究論文を英語で執筆するプロジェクトが立ち上がっています。商ゼミ生による海外ジャーナル投稿は、おそらく史上初の試みとなるでしょう。このように、小野ゼミ生たちは、伝統と革新の精神を胸に、自己成長のためのビジョンと熱意を持って研究活動に取り組んでいます。ただし、小野ゼミのフィールドは研究面に留まりません。ウェブサイトに掲載されているとおり、ソフトボール大会やフットサル大会では強豪として知られていますし、居酒屋にゼミ旗が翻るほど懇親会が盛んです。指導教授の小野先生は、何事にも全力で取り組むゼミ生の活動を奨励し、自主性を尊重しつつ、ゼミ生一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす場を整えてくださいます。先生のご自宅にて夜通しでホームパーティが開催されるほど先生とゼミ生の距離は近く、そんな先生を慕ってOB・OG もしばしばゼミに遊びに来ます。マーケティングを真剣に学びたいという強い意欲を持つ方や、三田の2年間で大きく成長したいと望んでいる方にとって、小野ゼミこそ最高かつ最適な環境なのです。

ゼミ員構成

【第6期】4年生 17名（女子4名、他学部1名） 【第7期】3年生 19名（女子6名、他学部1名）

活動内容

【3年次】春学期は、基礎知識習得のため、ケースメソッド、ディベート（以上、木曜本ゼミ企画）、基礎文献レポート、コンピュータによる多変量解析、フリーディスカッション（以上、月曜サブゼミ企画）等に取り組めます。秋学期は、春に蓄積した知識を土台に、4つの共同プロジェクトチームに分かれて、塾内外の研究企画に参加する期間となっています。

【4年次】3年生の研究企画を指導しつつ、自らの卒業論文を執筆します。3年生には、就職活動のために業界研究会も開きます。また、卒業論文のほかに、懸賞論文に応募する有志も少なくありません。

三田祭

三田祭では、「関東十ゼミ討論会」、「商学部異分野インゼミ研究発表会」、「マーケティング・ゼミ合同研究報告会」、「英語論文」の4大共同研究プロジェクトを、各発表会に先駆けて発表します。全論文を一度に展示し、希望者には執筆にあたったゼミ生による1対1の解説も行いますので、ぜひご来場ください。

入ゼミ選考について

当研究会では、自己成長のためのビジョンと熱意を持ち、仲間と協力しつつも主体的に活動できる2年生の皆さんの積極的なご応募をお待ちしております。

連絡先

小野晃典先生 akinori@fbc.keio.ac.jp

質問用メールアドレス onozemi8@gmail.com

松木拓也(入ゼミ) tm680324@yahoo.co.jp

小野ゼミ HP <http://news.fbc.keio.ac.jp/~onosemi/>

菊盛真衣(入ゼミ)(文責) genkinakikumori927@hotmail.co.jp